ニッキン ONLINE

富山県信保協、女性職員が決算の見方学ぶ　県内金融機関から参加

2026年10月22日 18:53



決算書の読み方を説明する筏井社員税理士（10月22日、富山商工会議所）

富山県信用保証協会（浜田満広会長）は10月22日、富山市内でTKC北陸会富山県支部と「働くきんゆう女子活躍推進会議」を開いた。同協会のほか、県内の信用金庫や信用組合、日本政策金融公庫の女性職員が税理士から決算の見方や実務のポイントを学んだ。

金融機関では渉外業務や経営支援などで女性の活躍が増える一方、働き方に不安や悩みを抱える人も少なくない。業態の垣根を超え、人材育成や職員間の交流を図るため同協会の女性職員で構成する経営支援チーム「アイラーレ」が企画した。

当日は18人が参加。TKC所属で税理士法人リタパートナーズの筏井陽子社員税理士が決算書の基本や女性比率の高い業種に多い財務構造などについて説明。「事業主の技術・人柄が売り上げの源泉」「原価が小さく固定費中心」といった財務構造の特徴を紹介した。

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン ONLINE　2026 年 10 月 22 日